

「原子カムラ」とはなんだろうか？ (B・1/2)

1 技術の問題

1-1 エネルギー問題 	1-5 自ら使う→良い 他人から使う→悪い
1-2 安全性に対する疑問 	1-6 専門家(技術として)の小集団(良いイメージ)
	1-7 自治体の方が強い
1-3 原子力(放射線)はどれくらい身近にあるか? 利用の問題で	1-8 マニアック
1-4 原子力の利用と放射線の利用とはちがう 	

2 中間の問題・組織の問題

2-1 どんな分野でも同じ	2-7 自らでは戻れない	2-8 利益共同体
2-2 マイナスのイメージ		2-9 仲間うち
2-3 小さな集団(技術的)		2-10 田中知
2-4 村人の外部に対するアカウンタビリティが必要		2-11 目に見えないものをどうとらえるか?
2-5 説明責任が果たされていないから 	2-6 例えば医学会は閉鎖的だったが改善された 	2-12 推進派の集団

3 ヒトの問題

3-2 知識の格差	3-1 相手を理解しようとしていない
3-3 専門的すぎてよくわからない 	3-6 知ってることと知らないこと
3-4 専門家集団例えば物理学会等、ただ閉鎖性が問題	3-7 明確にすべき
3-5 差別用語「ムラ」という使い方 	

気づいたこと

ア スリーマイル、チェルノブイリ etc. 歴史上の安全性?

イ 停止までのタイムスケジュール

ウ エネルギーのプライオリティ、電力確保

エ エネルギー問題の対応の時にできた市・専

オ 原子力である理由はエネルギー問題と深い

カ 1-1 単なるエネルギー問題ではなく、生活レベル、国の競争力等も含めて議論

キ 原子力に代わる発電は?

ク 「ムラ」への期待がある

ケ 使用済の安全性が語られていない!?

コ 「説明責任」への指摘に答えられていない現状

サ 市・専 利益共同体

シ ムラは利益を得ているが、真のリスクを知っていたのか? 情報不足

ス 差別・専 門のみ

セ 相手の話を聞く態度